



## 卒園おめでとう! ~担任からのメッセージ~

須田 尚子

かわいい、かわいいゆり組のみんな、卒園おめでとう!!いっぱい泣いて、笑って、怒ってケンカして、小さかったあの頃が、きのうのこのように思い出されます。特にこの3年間は私の保育士人生の中で中身の濃いものでした。思い出は書ききれませんが、運動会、発表会、作品展とみんなの前向きな取り組みとやる気にいつも助けられてきました。27人の底力と成長をずっとそばで見てこられて、こんなに幸せなことはありませんでした。子どもらしくって素直なみんなが大好きです。ずっとずっとまっすぐなみんなであって下さい。

和氣 佑子

おしゃべりと笑顔がいっぱいのゆり組。そんなみんなと一緒に過ごして毎日たくさんのお楽しみをありがとうございました。ありがたい気持ちでいっぱいです。生き生きとした表情で、何事も楽しみながら一生懸命に取り組むみんなの姿が大好きでした。これからもそのままの笑顔を忘れずに小学校生活を楽しんでいって下さい。

# しらすぎ

しらすぎ保育園  
VOL50 NO.12  
(通巻 599号)

<http://www.sirasagi-hoiku.com/>

巣立ちの時を迎えて

園長 秋保 めぐみ

しらすぎ保育園が50周年を迎えた29年度。巣立ちを迎えたゆり組さんを加えると、創立から数えて1298人の卒園生を送り出したこととなります。

入園してからの長い共同生活の中で、『美味しい食事で食べることが大好きに』『薄着で思い切り遊んで強い体に』『あきらめずにじっくり取り組みできた喜びを味わうように』『困ったときは助けあえるように』そんな心が育つように毎日大切に種をまいてきました。当園の保育目標である「やさしいところとつよいからだ」の種をもったゆり組さんたちは小学校に行っても「自分さえよければ!」という“自己中心的”な人にはならず、豊かな心の花を咲かせてくれることと思います。

十数年前から、しらすぎ保育園には卒園生たちが保護者となって帰ってきてくれています。しらすぎの良さをわかってくれ、この園に子どもを通わせたいと選んでくれていると思うとうれしい限りです。今年巣立っていくゆり組さんも、いつの日かお子さんをつれて帰ってきてくれるかな…とそんな夢をいだきながら送り出します。

保護者の皆様、大切なお子さんをしらすぎに委ねて下さってありがとうございました。長い間のご理解とご協力に感謝いたします。

### 3月のテーマと内容

	テーマ	内 容
0才児	リズムにのって	歌やピアノにあわせて、リズムにのって身体を揺らしたり、手拍子をしたり様々な動きを楽しむ。新しい体操にもチャレンジ。
1才児	あいさつしよう	「おはよう」や「さようなら」「ありがとう」や「ごめんなさい」などのやり取りを毎日交わしていくうちに、自然とあいさつができるようになる。
2才児	みんな一緒にすみれ組	2階の保育室を探検したり、すみれ組の生活を見学したりして進級への期待がふくらむ。スリッパをはいてトイレに行くことにも挑戦し、進級準備をはじめる。
3才児	自分でしよう	ばら組への進級を意識し、朝と帰りの用意やロッカー整理など身の回りのことを自分でする習慣をつける。
4才児	チームばら組	1年間の行事や遊びを一緒に経験したことで、仲間意識が高まり、友だちの存在が大きくなる。ゆり組進級に向け、自覚をもち、やる気スイッチON!
5才児	さよなら ぼくたち、わたしたちのほいくえん	たくさんの毎日を過ごした保育園。楽しかったこと、うれしかったこと、友だちとの思い出を胸に卒園という晴れの日を迎える。

### 観劇会がありました

さくら組(2才児)担任 和田 夏実

2月6日(火)に劇団すぎの子による観劇会がありました。演目は「大きなかぶ」と「三枚のお札」。

「大きなかぶ」はよく知っている話だったので、「うんとこしょどっこいしょ」と人形と一緒に掛け声をかけ盛り上がりました。「三枚のお札」は人形が登場するたび大喜びのみんな。「小僧はどこいった?」と山姥が尋ねると、「あっちー」と指をさし教える子もいれば、怖くて下を向く子も。人形の動きが細やかで吸い込まれるようにじーっと見入っていたみんな。楽しい時間を過ごしました。

### クラス別懇談会を終えて

ばら組(4才児)担任 加藤 直未

2月17日(土)にクラス別懇談会を行いました。今回から参観後そのまま懇談会に移る形に変え、多くの保護者の皆さんが参加し、全クラスが懇談会を行いました。ばら組は、お子さんと一緒に参加ということでひとりひとりに向けて“この1年で成長したこと”“褒めたいこと”について話していただきました。全員で成長を喜び合うことで、クラスが一体となり、充実した時間になりました。また、子どもたちの照れたかわいい姿も見られ、良い機会となりました。

### 3月のプラン



- 1日(木) } 弁当日  
15日(木) }  
2日(金) 誕生会・ひなまつり  
3日(土) 大掃除②、クラス委員会  
新入園児説明会  
24日(土) 第49回卒園式  
31日(土) 新年度保育準備日  
(家庭保育協力日)

<14日(水) カンガルー広場(園庭開放)>

### <編集後記>

先月平昌オリンピックで湧いた日本。私も毎夜ニュースを見て感動していました。1番感動したのはフィギュアスケートの羽生選手の連覇。その羽生選手が以前インタビューで“目標を書くなら大きい方がいい、具体的に書いた方が達成しやすい。そして、必ず評価反省をすることが大切”と言っていました。“目標を立てたら評価反省”これは保育の場にも常に必要なことだと思います。今、各クラス1年間の総まとめの時期。進級にむけて年齢に合わせてできることを増やしていこうと頑張っています。3月は去るといってあっという間に過ぎ去ってしまいがちですが、しっかり今年1年を振り返り評価反省をし次の年へ繋げていきたいと思っています。

(小田嶋)

<今月の担当：小田嶋・加藤・和田・鴨崎>



# ゆり組保護者の声

## ～クラス委員～



～美杜ちゃんのおかあさん～ 中野 好美さん

私は、4年間連続でクラス委員をさせていただきました。最初は「大変な仕事かな？」と不安に思うところもありましたが、実際にやってみるとそんなことはなく、担任の先生やお友だちのお母さんとの距離が縮まり、役員をするメリットの方が多くあるように感じます。特にゆり組さんのクラス委員は、自分たちでお別れ会の企画からさせていただけるのでとても楽しいです。沢山の学び

～章太くんのおかあさん～ 三木 真弓さん

章太がたんぼ組の時からのので、6年間お世話になりました。マイペースな子だったので、集団生活がちゃんと送れているのか心配な時もありましたが、担任の先生をはじめ、たくさんの先生方が個性を理解し個々に合った関わり方をしてくださったおかげで、無事卒園まで通うことができました。運動会、発表会、お別れ会、卒園式の思い出が沢山あります。

～恭華くんのおかあさん～ 近藤 明奈さん

9カ月の頃、息子は入園しました。気が付くと、お箸を覚え、トイレを覚え、友達ができ、一緒に遊ぶ事の楽しさを覚え、友達・先生との別れに寂しさを感じるようになりました。あっと言う間の6年間でした。ゆり組になった息子は、私が風邪を引くと急に家事をしたり、困っていると相談に乗ってくれる子になっていました。保育園で「褒められる喜び」や「感謝される嬉しさ」を学んだと思います。心の底から褒めてくれたり、私の代わりに真剣に怒ってくれたり、いつも息子のそばに寄り添って下さり本

～亜利寿ちゃんのおかあさん～ 末吉 明菜さん

私の娘は、すみれ組から入園し3年間お世話になりました。それまではクラス12人の保育園だったので人数の多さに当初は戸惑っていましたが、先生やお友達のお陰で楽しく通えました。家では私との秘密事をすぐに家族に言うのに、保育園で先生から親への秘密事は必ず守り教えてくれないので、先生の偉大さに感激の毎日で成長を感じました。一緒に過ごしてくれたお友達、支えてくれた先生方、美味しい食事を作ってくれた食事の先生方、皆様本当にありがとうございました。

～翔慎くんのおかあさん～ 西浦 美砂子さん

たんぼ組から、しらさぎ保育園でお世話になり、色々な事がありました。一番心に残っているのが、最後の運動会。本当に赤ちゃんの時から見ている子ども達が凄く立派で、最初から最後まで涙が止まりませんでした。こんなに立派に成長したのも、先生方あっての事です。時には、母の様に怒ったり、母以上に優しく包み込んで下さったり。先生方には頭が上がりません。本当に息子

～隼翔くんのおかあさん～ 奥村 麻実さん

もう卒園なのか、と息子も私もさびしくて涙がでる程、楽しい保育園生活でした。1歳で入園し、泣きわめきながらも集団生活に慣れていき裸足保育のおかげもあり、たくましくなりました。運動会、発表会も小さなうちは泣いている息子だけを見ていた気がしますが、ゆり組では全員一丸で作りに上げた作品を見てこちらが涙しました。園長先生をはじめたくさんの先生方、そして須田先生、本当に感謝の

～翔太くんのおかあさん～ 天野 千景さん

もうすぐ卒園だと思うといろいろな事を思い出して涙があふれてきます。子ども達の成長を日々感じその成長を見守り続けて頂いた先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

役員をさせてもらったことで先生方、保護者の方、園の子ども達などいろいろな方とお話しさせてもら